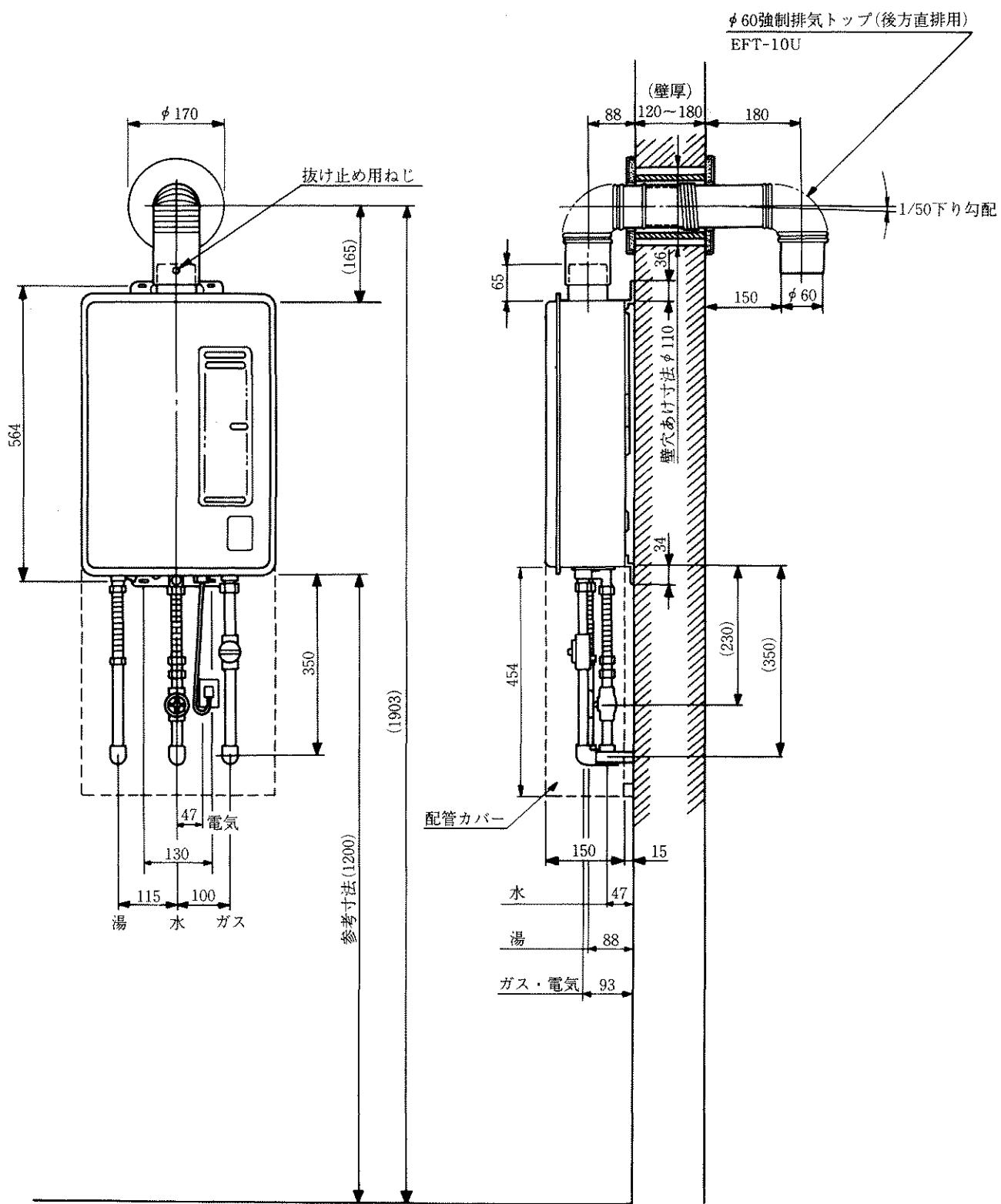


## §10 設置施工

### 1. 標準設置図

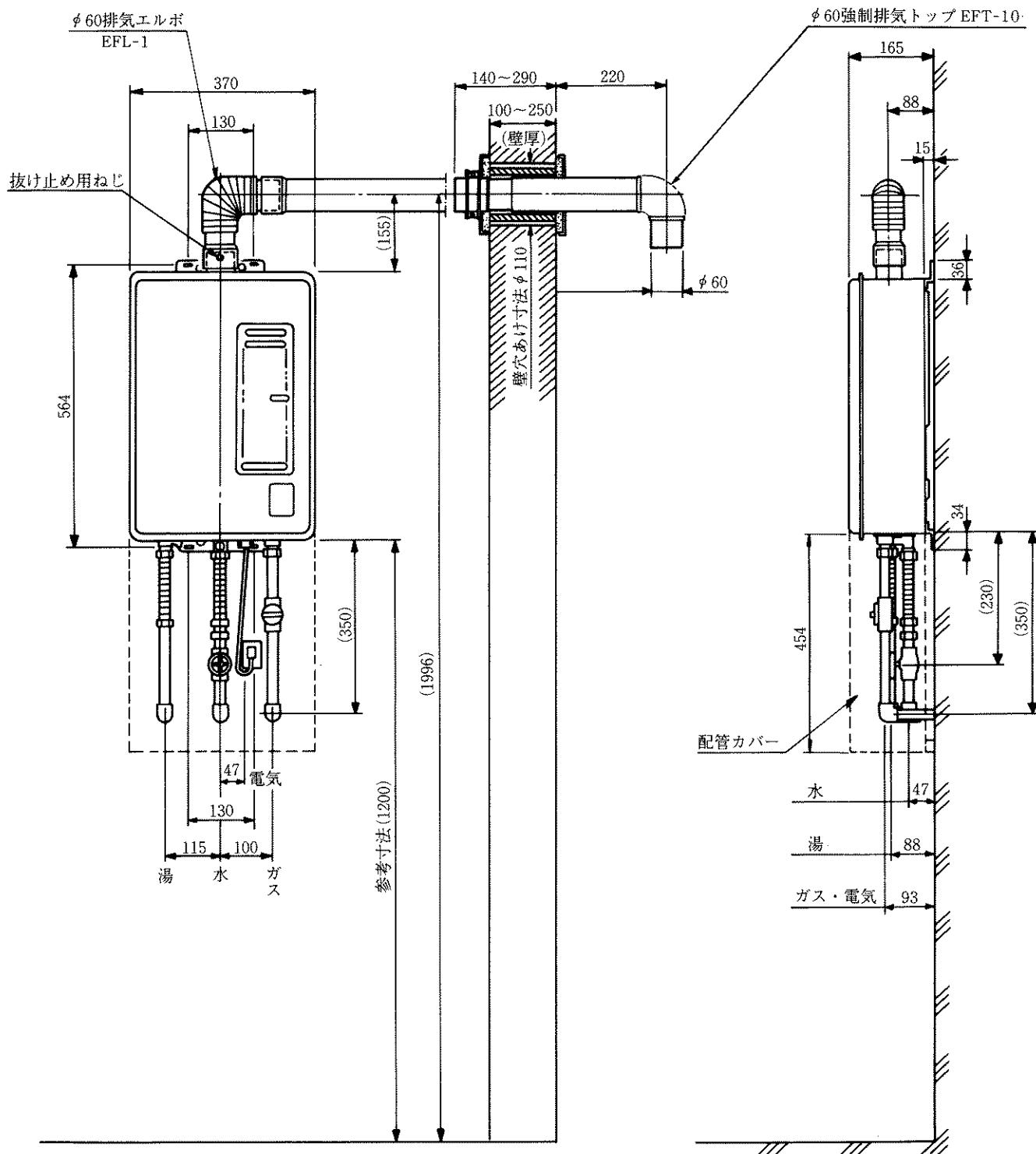
#### 1) 後方直排設置

(単位: mm)



## 2) 排気延長設置

(単位 : mm)



この器具はφ60にて7m 3曲りまで排気延長可能です。

Rinnai

## 設置工事説明書

## ■工事される方へのお願い

- この機器を正しく安全に使用していただくために、この「設置工事説明書」をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
- 「ガス機器の設置基準及び実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)も併せてお読みください。
- 工事終了後にお客様に使用方法、保証の内容をよく説明のうえ、取扱説明書(保証書付)、設置工事説明書をおわたくしください。

## 〔前面近接設置形〕

## ■付属品の確認

## ■給水・給湯配管工事

## ■設置工事後の確認

## ■試運転および試点火について

Rinnai 株式会社

## ■付属品の確認

## ■給水・給湯配管工事

## ■設置工事後の確認

## ■試運転および試点火について

## ■別売部品

## ■ガス配管工事

## ■電気工事

## ■設置前のご注意

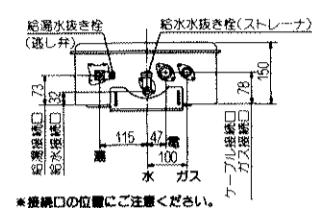
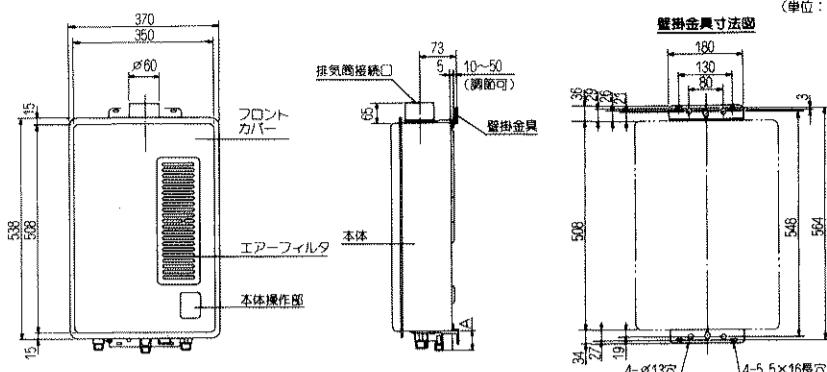
## ■別売シャワーリモコンの接続

## ■別売シャワーリモコンの接続

## ガス瞬間給湯器

RUX-1616WF  
RUX-1616WF-E  
RUX-1606WF  
RUX-1606WF-E

## ■各部の名称および寸法



接続口			
形式の呼び	接続口径	A寸法	
ガス	LPG, 13A - 12A その他のガス	15A(R1/2) 20A(R3/4)	41
給水	1616タイプ 1606タイプ	15A(R1/2) 20A(R3/4)	49
給湯	1616タイプ 1606タイプ	15A(R1/2) 20A(R3/4)	40
			42

\*接続口の位置にご注意ください。

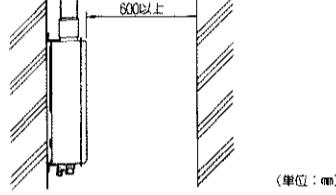
## ■燃焼排ガスの上昇する位置

●ガソリン、ベンジン、接着剤などの引火性危険物を扱う場所には設置しないでください。  
燃焼排ガスや調理器具からの蒸気、油などを燃焼するため不完全燃焼の原因となるばかりでなく、機器の寿命を短くする原因にもなります。

## ●冷蔵庫機の冷・温風の吹出口付近はさけてください。

## 4. 保守・点検のためのスペース

- 機器点検、修理ができるよう十分なスペースを確保してください。
- 機器前方は600mm以上の空間を設けてください。



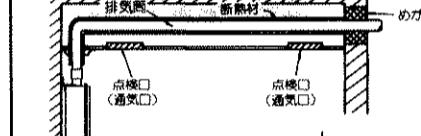
(単位:mm)

## ●隠れ部分への飛込み部

●隠れ部分に排気筒を設置する場合は接続部を排気漏れのない構造とし隔壁に接続し、金属以外の不燃材料で覆ってください。

●接合部は必ずねじ止めを行い、アルミテープなどでシールしてください。

●隠れ部にある排気筒の点検修理のため、必ず点検口を設けてください。



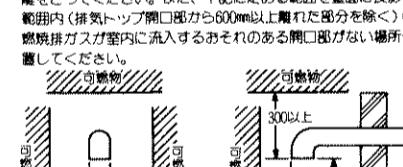
(単位:mm)

## 5. 機器の設置条件

- ガスマーテや電気設備の近くには取り付けないでください。
- 人の出入りの激しい場所への設置はさけてください。
- 階段、避難口近くへの設置はさけてください。
- コンセントに接地端子が付いていない場合は、電気工事士による第3種機工事を行ってください。
- コンセントは、機器の後にならない位置で排気筒からの熱の影響を受けない位置に取り付けてください。
- コンセントとガス管および水道管とは、100mm以上離してください。
- 機器の水抜き栓からの水が直接コンセントにあたらない位置にしてください。

## 6. 排気トップの設置基準

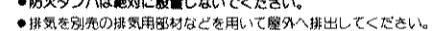
- 排気トップは必ず屋外に出るように取り付けてください。
- 排気トップは1/50程度の先下り勾配に取り付けてください。
- 排気トップ先端は注意ラベルの表示に従って取り付けてください。
- 構造が予想される場合、排気トップは周囲の構造や脇壁に阻害されないように施工方法を考慮してください。
- 排気トップ先端に危険物は着けないでください。
- 排気筒が排気トップに向って1/100~1/50程度の下り勾配になるように施工してください。
- 排気トップの先端から水蒸気(煙のようなもの)や水滴が出来ることがあります。排気トップの位置は水蒸気の日立ない場所や、水滴落下による床ぬれ、飛散による支障のない場所を選んで設置してください。
- 排気トップの開口部と周囲の「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分など」は、下記の離隔距離をとってください。また、下記に定める範囲を画面に投影した範囲内に排気トップ開口部から600mm以上離れた部分を除くに、燃焼排ガスが室内に入流するおそれのある開口部がない場所に設置してください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

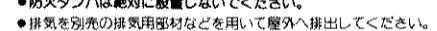
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

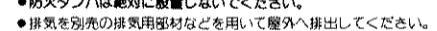
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

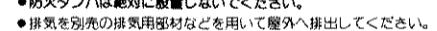
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

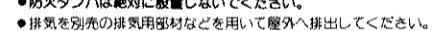
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

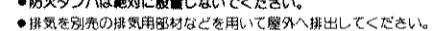
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

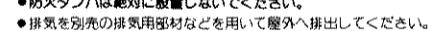
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

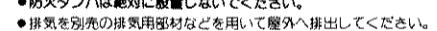
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

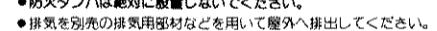
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

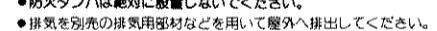
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

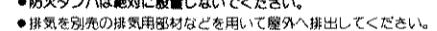
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

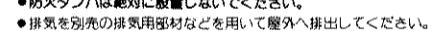
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

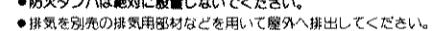
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

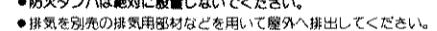
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

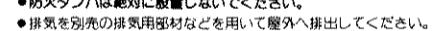
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

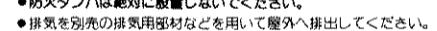
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

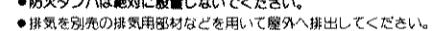
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

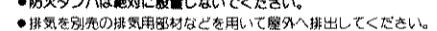
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

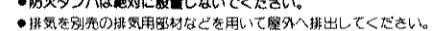
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

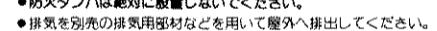
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

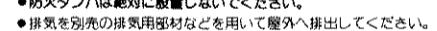
- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。



(単位:mm)

## ●くぼみ部への設置

- 可燃性壁面の場合、左右側方のうち一方を150mm以上とし、他の方を300mm以上としてください。
</ul

(4) 機器の上下各2箇の長穴に、木ねじをねじ込み、機器を固定してください。

●設置する壁には約16kgの重量が加わりますので十分な強度がない場合は強化工事をしてください。  
●必ず垂直面に取り付けてください。  
●取り付ける側面がコンクリート、コンクリートブロックの場合は、下図5箇所の下穴をあけ、オールドラブを打ち込んだ後、(1)～(3)の手順に従い、取り付けてください。

(5) 排気トップをねじ込んで固定してください。  
(6) 接続エルボを差し込み、所定の位置に合わせ、接続部をコーキング処理してください。  
(7) ほカ必要に応じて雨じまいのコーキング処理をしてください。

●排気トップ、排気筒、エルボ、取付パイプはJIA合格品の専用部品を使用してください。●別売部品はあります。  
●取り付ける側面がガラス、ガラス窓枠の場合は、下図5箇所の下穴をあけ、オールドラブを打ち込んだ後、(1)～(3)の手順に従い、取り付けてください。

(8) 排気筒の取り付け手順  
(1) 排気筒直管、排気エルボ、フレキシブル管を組み合わせて、排気トップ側から順次接続してください。  
(2) 排気筒は専用の取付パイプで排気筒の接続部、または900mmの長さに対して1個の動作で堅固に取り付けてください。  
(3) 排気筒の接続部は十分に差し込み、タッピングねじまたはリベットを使用し抜け止めを行い、耐熱シール材、または耐熱アルミテープで完全にシールし、排気漏れのないことを確認してください。

注) 本体側の排気筒には逆止止めが組み込まれていますので、抜け止め用穴は必ず既存の穴を使用してください。

(9) 排気筒またはエルボ  
耐熱アルミテープ  
抜け止め用穴(3ヶ所)  
(現地で打つ)  
タッピングねじ  
(付属品)

(10) トーセツ端の排気用部材を使用する場合  
(1) 窓に穴をあけ、直管またはスライド管の先端が壁面から115mm以上出るようメガネ石または兼用換気口に設置します。  
(2) 直管の先端にエルボトップを差し込みます。このときエルボトップは直管の差し込みマーク(赤線)が見えなくなるところまでしっかりと差し込み(「カチッ」と音がするまで)、エルボトップと直管の「>」または「<」マークがはずれた位置になるように直管を回転させてください。

全周コーキング  
直管コーキング  
直管またはスライド管  
エルボトップ  
115以上  
(直管先端まで)  
150以上  
(直管先端まで)

(11) 壁に穴をあけてください。  
壁穴加工工事は、可燃物と不燃物で異なり、可燃物の場合は火災予防条例に従って約120以上の穴を開けてください。不燃物の場合は、約80以上の穴を開けてください。  
(12) 排気トップの長さを決めてください。  
排気トップはスライド式ですから、壁厚100～250mmの範囲は標準排気トップにて取り付けできます。始めに壁厚を測定してから、下の表より、排気トップの長さを求めて接続部をタッピングねじを使用し抜け止めを行い、アルミテープにて排気漏れのないようにシールしてください。  

壁厚	100	250
排気トップ長さ (壁厚+60)	160	310

  
(13) 断熱材を壁面に合わせて切削してください。  
(14) 排気トップをフランジ、パッキン、断熱材(各1)をセットし、屋外側から穴に入れてください。  
(15) スライド管に屋内側からパッキン、フランジ(各1)をセットし、固定金具で固定してください。  
(16) 屋外側表面の(パッキン部の)雨じまいはシールを完全にしてください。  
(17) 後方直排トップダ60(EFT-10U)を使用する場合

品番	部品名	個数	備考
①	排気トップ(組)	1	
②	トップフランジ	2	
③	パッキン	2	
④	断熱材	1	
⑤	トップ固定金具	2	
⑥	小ねじ M5×14	2	トップ固定金具取付用
⑦	シールテープ	2	アルミテープ

(18) 壁に穴を開けてください。  
前記の排気トップの設置基準のほか、各都道府県市町村の火災予防条例に従ってください。  
(19) 調節管とフランジで壁をはさみ、すきまをコーキングしてください。  

壁厚	120~180
フランジ	調節管

  
(20) 水配管の取り付け手順  
(1) 排気トップをねじ込んで固定してください。  
(2) 接続エルボを差し込み、所定の位置に合わせ、接続部をコーキング処理してください。  
(3) ほカ必要に応じて雨じまいのコーキング処理をしてください。

●排気トップの長さは直管の長さ+60mmです。  
●取り付ける側面がガラス、ガラス窓枠の場合は、下図5箇所の下穴をあけ、オールドラブを打ち込んだ後、(1)～(3)の手順に従い、取り付けてください。

(21) 接続部をコーキング処理する  
●接続部をコーキング処理する前に、給水元栓を開けて、給水配管内のゴミ、砂を流し出してください。そして接続後、通水テストを必ず行い、給水元栓を開けてから給水接続口内部のストレーナを取り出し、ストレーナを掃除してください。  
●給水配管の接続部には、機器の給水接続口の近くに逆止弁を設けるか、逆止弁付きの給水元栓を必ず取り付けてください。また、給水接続口と逆止弁との間の配管には端ビニルを絶対使用しないでください。  
●給水配管は金属製の管(銅管)などを使用してください。  
●端ビニルは使用しないでください。  
●端ビニルを使用する場合は、必ずローテー付けて接続してください。  
●フレキシブルチューブをお使いになる場合には、地域の水道条例によって規制されている場合がありますのでご注意ください。  
●フレキシブルチューブが絶えないとときは、必ずユニオン/耐熱テープを使用し給水、給湯配管には水抜き用の排水栓を設けてください。  
●給水・給湯配管(フレキシブルチューブを含む)はすべて保温して下さい。  
●端手類はできるだけ少なく、複数の配管はさけてください。  
●配管途中に空気溜りができるような配管はさけてください。  
●配管材料は必ず関係水道局の承認または検査に合格したものを使用してください。

(22) 給水配管  
●この機器は水槽センサを使用してあり点火するためには給水圧が「最低作動水圧」以上必要です。最低作動水圧は0.1kgf/cm<sup>2</sup>です。  
●この機器をお客様に快適に使っていただくには、給水圧力が1～5kgf/cm<sup>2</sup>が必要です。特に水圧が高い場合には、機器の能力が十分に発揮されず、お客様とのトラブルの原因にもなりますので、加圧ポンプを設置するなどの対策を講じてください。

(23) 給水配管  
●混合水栓は通水抵抗の少ない構造を選んでください。また、シャワーへッドは極力、瞬間湯沸器用の圧力損失の少ないものを使用してください。  
●配管はできるだけ給湯器と同高さで行ってください。階上に配管する場合には余分に給水圧が必要になります。(1mにつき0.1kgf/cm<sup>2</sup>ずつ余分に必要になります)  
●できるだけ短距離に配管してください。給湯配管が長くなれば、それがあお湯の出始めが遅くなり燃料のムダになり、使用上不便を感じます。  
●2箇所以上で同時にお湯を使用するときには、給湯配管の方法、給湯栓の開閉具によってそれぞれの給湯栓があお湯の量が異なることがあります。特に給湯器から遠い場所、高い位置の給湯栓ではお湯の出ない場合もありますので、十分ご検討のうえ設置ください。

(24) 給湯配管  
●混合水栓は通水抵抗の少ない構造を選んでください。また、シャワーへッドは極力、瞬間湯沸器用の圧力損失の少ないものを使用してください。  
●配管はできるだけ給湯器と同高さで行ってください。階上に配管する場合には余分に給水圧が必要になります。(1mにつき0.1kgf/cm<sup>2</sup>ずつ余分に必要になります)  
●できるだけ短距離に配管してください。給湯配管が長くなれば、それがあお湯の出始めが遅くなり燃料のムダになり、使用上不便を感じます。  
●2箇所以上で同時にお湯を使用するときには、給湯配管の方法、給湯栓の開閉具によってそれぞれの給湯栓があお湯の量が異なることがあります。特に給湯器から遠い場所、高い位置の給湯栓ではお湯の出ない場合もありますので、十分ご検討のうえ設置ください。

(25) 電源ケーブル  
●この機器は電源ケーブルを下図のように余裕をもたせ、ケーブル用クランプで固定してください。  
●ケーブル用クランプは電源コードを固定していたものを使用してください。

(26) フロントカバーをもと通りに取り付けてください。

(27) 別売シャワーリモコンの接続  
●この機器は本体操作部と別売のシャワーリモコンの両方設置ができます。  
●本体操作部と別売のメイリモコンとの両方設置はできません。  
●機器本体からリモコンまでの接続線は24V以下ですので、この配線工事は「小勢力回路の工事」に該当し、電気工事の資格がなくても工事できますが、電気設備技術基準に合った電気工事で施工してください。  
●2芯ケーブルが余る場合は機器の外にて処理してください。(機器の中には絶対に押し込まないでください)

(28) シャワーリモコンの取り付け  
●別売のシャワーリモコンに同梱されている「リモコン設置工事説明書」を参照し正しく取り付けてください。

(29) 機器との接続  
●機器を使用する場所にガス栓がない場合、あるいはあつても位置や寸法などが適切でない場合は、新設、移設、または交換などが必要ですので、ガス事業者にご相談ください。  
●専用のガス栓を設けてください。

(30) ガス接続  
●ガス接続口は、LPG、13A・12Aが15A(R3/4)、その他のガスはすべて20A(R3/4)になっています。  
●ガス栓と給湯器の間に必ず二重栓を取付けてください。  
●この機器は金属管接続ですので、ゴム管接続はできません。  
●金属管接続はガス事業者の指定する工事店に依頼してください。  
●給湯器は多量のガスを短時間に燃焼しますから、ガス管が十分供給されるようにご検討ください。  
●L.Pガスをご使用の場合、L.Pガス容器は5kg2本を併用してください。  
●都市ガスの場合は、ガス流量が多いため、配管途中の圧力損失が大きくなりますから十分余裕のある配管にしてください。

(31) 電気接続  
●電源プラグをコンセントから抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)  
●電源を入れたままケーブル工事をしますと電源品が破壊されることがあります。  
(1) 電源ケーブルのフロントカバーを取りはずしてください。  
(2) 機器本体底面のケーブル接続口からコネクタ付2芯ケーブルを引き込み、下図のように本体操作部の裏を通して電源コニットの2P端子まで持っていくてください。

(32) 電源ユニットの2P端子にコネクタ付2芯ケーブルを下図のように本体操作部用の2芯ケーブルとダブルで接続してください。(A、Bの属性はありません)

(33) 電源ユニットの2P端子にコネクタ付2芯ケーブルを下図のように本体操作部用の2芯ケーブルとダブルで接続してください。

(34) コネクタ付2芯ケーブルを下図のねじを使って、シャワーリモコンに付属のケーブル用クランプ(3N)で固定してください。

(35) フロントカバーをもと通りに取り付けてください。  
●この機器は本体操作部に異常(故障、ケーブル断線など)が生じた場合、自動的に恒温タイプ(出湯温度は60℃設定)となります。  
●本体操作部異常時出湯温度は本体の電源ユニットで設定した温度(60℃または70℃)になります。  
※詳しくは配線図(フロントカバー裏側に収納)をご参照ください。

(36) 設置工事後の確認  
設置工事が終わりましたら、もう一度機器周りの工事について点検をしてください。

(37) 機器の設置状態  
●可燃物および可燃性部分との距離は確保されていますか。  
●日常の使用および点検に支障をきたしませんか。

(38) 給水・給湯・ガス配管  
●配管接続部から水・ガス漏れがありませんか。  
●給水圧は十分ありますか。  
●ガス圧力は過正ですか。

(39) 試運転および試点火について  
●取扱説明書の内容に基づき、試点火を行い、正常に動作することを確認してください。  
●ガス配管中に空気が滞っている場合には点火しないことがあります。その場合には、下記の順序に従って実施してください。  
(1) 本体操作部の運転スイッチを「入」にしてください。  
(2) 給湯栓(混合水栓の出湯栓)を全開にしてください。  
(3) 本体操作部に故障表示(「！」)が点滅したら、給湯栓を閉めてください。  
(4) 上記(2)および(3)を繰り返し、本体操作部の燃焼ランプが点灯することを確認してください。  
●試運転が終りましたら、すぐご使用になる場合を除きガス栓を閉め、取扱説明書に従って必ず水抜きを行ってください。  
●この機器は常時約8Wの電力を消費しますので、すぐご使用になる場合は電源を切り、必ず電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)  
※凍結予防の水抜き  
●通水後、配管や機器内に残った水は、お客様が使用されるまでの期間放置すると、凍結して機器が破損する恐れがありますので、完全に水を抜きとめてください。

(40) お客様への説明  
●取扱説明書によつて、使用方法を説明してください。特に「特に注意していただきたいこと」「使用方法」をよく説明してください。  
●保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡して、取扱説明書に従つて「保証・サービス」について説明してください。

# Rinnai

## 本体操作部

### 設置工事説明書

適用機種 RUX-1616WF, RUX-1616WF-E  
RUX-1606WF, RUX-1606WF-E

#### 工事される方へ

- 機器を正しく安全に使用していただくために、この説明書をよくお読みになって指定された工事を行ってください。

この機器の本体操作部は取りはずして壁面設置することができます。本体操作部を移設する場合にお読みください。

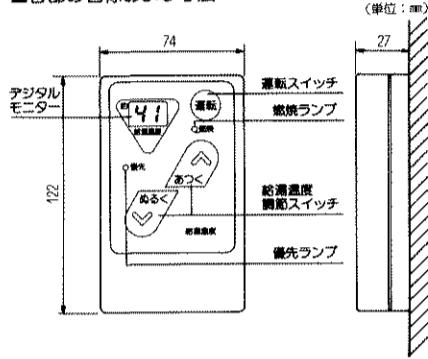
© リンナイ株式会社

#### ■付属品

#### ■本体操作部の取りはずし

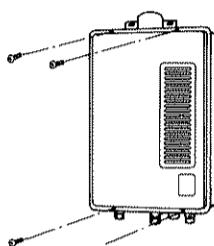
#### ■使用ケーブルについて

#### ■各部の名称および寸法

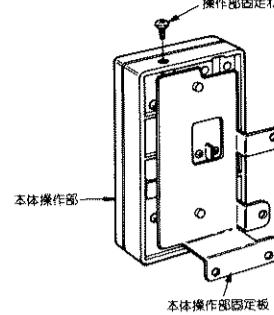


#### ■本体操作部の取りはずし

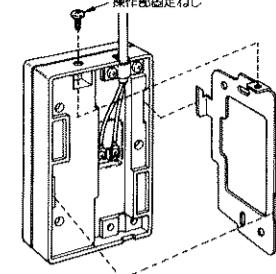
- (1) フロントカバーを取りはずしてください。(ねじ4本)



- (2) 操作部固定ねじ1本をはずして、本体操作部固定板を取りはずしてください。

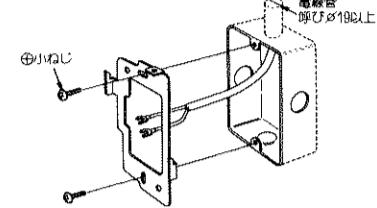


- (3) 取付金具に本体操作部を操作部固定ねじで固定してください。

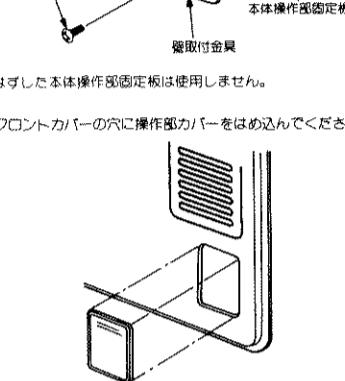


#### ■壁内埋込配線で本体操作部をスイッチボックス表面に取り付ける場合

- ① 取付金具を付属の④小ねじにて、スイッチボックスに取り付けてください。



- ② 2芯ケーブルのY型端子を本体操作部裏面の端子台に接続してください。



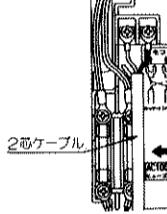
- ③ 取付金具に本体操作部を取り付け、操作部固定ねじで固定してください。

#### ■機器との接続

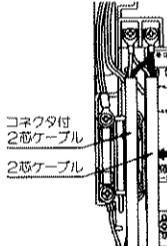
- ① 機器本体のフロントカバーを取りはずしてください。

- ② 機器本体底面のケーブル接続口から2芯ケーブルを引き込んでください。

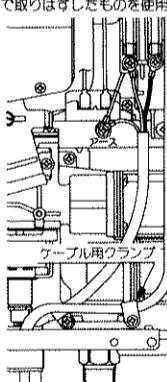
- ③ 電線ユニットのリモコン接続端子に2芯ケーブルを接続してください。(④・⑤の極性はあります)



\*本体操作部・シャワーリモコン両方設置の場合はリモコン接続端子に2芯ケーブル2本をダブルで接続してください。



- ④ 2芯ケーブルを下図のように付属のケーブル用クランプ(3N)で固定してください。  
(ねじは④の④で取りはずしたものを使用してください)



\*本体操作部・シャワーリモコン両方設置の場合は、2芯ケーブル2本をシャワーリモコンに付属のケーブル用クランプ(6N)で一緒に固定してください。

- ⑤ フロントカバーをもと通りに取り付けてください。

#### ■使用ケーブルについて

- ケーブルは別売の専用2芯ケーブル(UOC-25-00)を使用してください。

- 市販のケーブルを使われる場合はJIS C 3312に合格のVCTFまたはJIS C 3306に合格のVCTFを用い、仕上外径9mm以下をご使用ください。

- 芯線の公称断面積が0.5㎟より小さいケーブルは故障の原因となりますので使用しないでください。

- ケーブルにY型端子をつけると、芯線のヒゲなどが出ていると、端子に接続したときヒゲがもう1本のケーブルと接触してショートすることがあります。これは機器が正常に動作しないばかりではなく、機器本体の電線ユニットの故障にもつながりますので、芯線のヒゲは十分にご注意ください。

- 仕上外径が細いケーブルを使いになる場合はケーブルをリモコンまたは本体に固定するとき、ビニールテープなどを巻いて固定してください。

- ケーブルは直通熱の影響を受けないところに配線してください。

- ケーブルをコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などに収めてケーブルに傷がつかないように保護してください。

- ・メタルラスなどを有する壁を貫通する場合は、メタルラスなどと金属電線管が接触しないよう十分な距離を確保してください。

- ケーブルの総延長が20m以内になるように配線工事を行ってください。

- ・ケーブル怪と電線管の関係

- ケーブルを電線管に入れて配線をする場合は、ケーブル仕上外径は、端子をケーブルにかしめる前と後では異なりますので注意してください。

- ・2芯ケーブルの場合には2Pコネクタがあるため電線管呼び径25以上をお使いください。

- ・コネクタ付2芯ケーブルの場合は2Pコネクタがあるため電線管呼び径25以上をお使いください。

CU173-806

#### ■付属品

部品名	形状	個数	備考
操作部カバー		1	本体操作部を取りはずした後、フロントカバーの穴を塞ぐため取り付ける。
④木ねじ Ø3.8×32		2	
オールプラグ		2	#8
ケーブル用クランプ 3N		1	UC-25ケーブルを単独でクランプするとき使用
④小ねじ M4×26		2	スイッチボックス用
ケーブルプラケット		1	
④タッピングねじ Ø4×6		2	ケーブルプラケット取り付け用

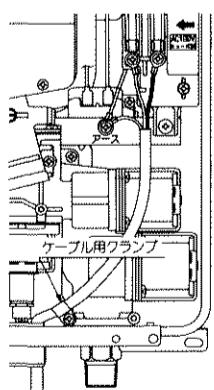
#### ■別売部品

品名	型式
2芯ケーブル (メインリモコン・本体操作部用)	UOC-25-00 (リモコン側・Y型端子) (機器側・Y型端子)
コネクタ付2芯ケーブル (シャワーリモコン用)	UOC-25C-00 (リモコン側・2Pコネクタ) (機器側・Y型端子)
シャワーリモコン	BC-45-1
コネクタセット	UX-2-C
シャワーリモコン 取付端面厚(㎜)	取付端面厚(㎜) 205~300 295~380
	RF-2001 (標準品はシャワー) RF-2002 (リモコンに付属)

#### ■設置前のご注意

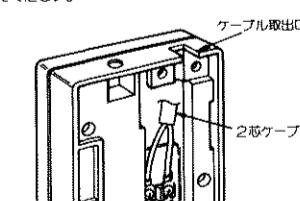
- この機器の本体操作部は別売のメインリモコン(MC-33-1)と全く同じ機能です。
- この機器の本体操作部と別売のメインリモコン(MC-33-1)の両方設置はできません。
- この機器の本体操作部と別売のシャワーリモコン(BC-45-1)との両方設置はできません。
- 別売のシャワーリモコン(BC-45-1)を設置する場合は、シャワーリモコンに付属の設置工事説明書を参照してください。
- 電源プラグが抜いてある(分電盤の専用スイッチが「切」になっている)ことを確認してください。
- 電源を入れたまま配線工事をしますと電気品が破壊されることがあります。

- (1) 本体操作部を取りはずした後に電源コードを下図のように余裕をもたせ、ケーブル用クランプを付け直してください。  
ねじは④で取りはずしたものを使用してください。

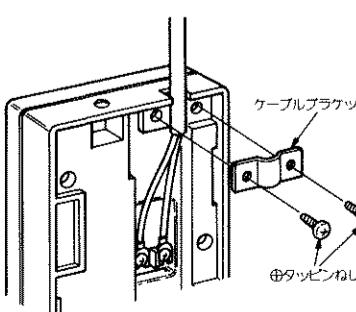


- (2) ケーブル取出口(上部または下部)をラジオベンチなどで割り取ってください。

- (3) 2芯ケーブルのY型端子を本体操作部裏面の端子台に接続してください。



- (4) 2芯ケーブルを付属のケーブルプラケットと④タッピングねじにて固定してください。



・はずした2芯ケーブルは使用しません。

・はずした2芯ケーブルは使用しません。